

国語

国語科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
漢字や語彙、文法の知識を増やし、言語感覚を磨く。	文章の展開に即して情報を整理し、内容を正しく捉えると共に、論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫する。

学年	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト、小テストの結果より、漢字の書き取りや読みに課題が見られる。ア ・定期テストの結果から、文章を読み、内容を正確にとらえる点で、課題が見られる。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の課題や漢字の小テストを定期的に行うことで、漢字に触れる機会を多くする。 ・少人数で話し合う場面を多く設け、より正確な読み取りを身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回程度 ・各単元 	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストや小テストの結果から、漢字の書き取りや読みに課題が見られる。ア ・定期テストの記述式の設問において、解答に不備がある生徒が多く見られる。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の課題や小テストを行うことで、基礎力を養い、漢字を積極的に記述する意欲を向上させる。 ・記述式の問いを増やし、書いたものを周囲の生徒と見せ合いながら自身の解答を改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回程度 ・各単元 	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストの結果から、漢字の書き取りや語彙に対して、やや課題が見られる。ア ・全国学力調査の結果や授業の場面で、自分の考えが伝わる文章を書くことに課題が見られる。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の課題や小テストを行うことで基礎力を定着させる。 ・鑑賞文や感想文等を書く機会を多く設け、互いの文章を読み合い、表現力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回程度 ・各単元 	

<p>■「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について</p> <p>1年 □イロノートでの考えの共有</p> <p>2年 □イロノートでのまとめた資料の共有</p> <p>3年 □イロノートでの感想文や鑑賞文の共有</p>	<p>■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について</p> <p>1年 単元ごとの目標設定と振り返りの実施。</p> <p>2年 単元と単元のつながりを意識した振り返りの実施。</p> <p>3年 単元末に、自己の成長を実感し、今後に生かせる学びの振り返りの実施。</p>
--	--